



参加団体

- NPOスマイラー
「コラージュ作品作り」
- チーム@エコすき
「牛乳パック紙すきDEカラフル
ハガキ作り」
- 新浦安マジックサークル
「マジック・エンターテインメント・
ショー」
- ファイバーリサイクルうらやす
「裂き織りコースター作り」
- チーム530
「牛乳パッククラフト」
- 浦安おもちゃの広場
「ボードゲーム楽しもう」

「若者のための夏休みボランティア」から 広がる その先へ...

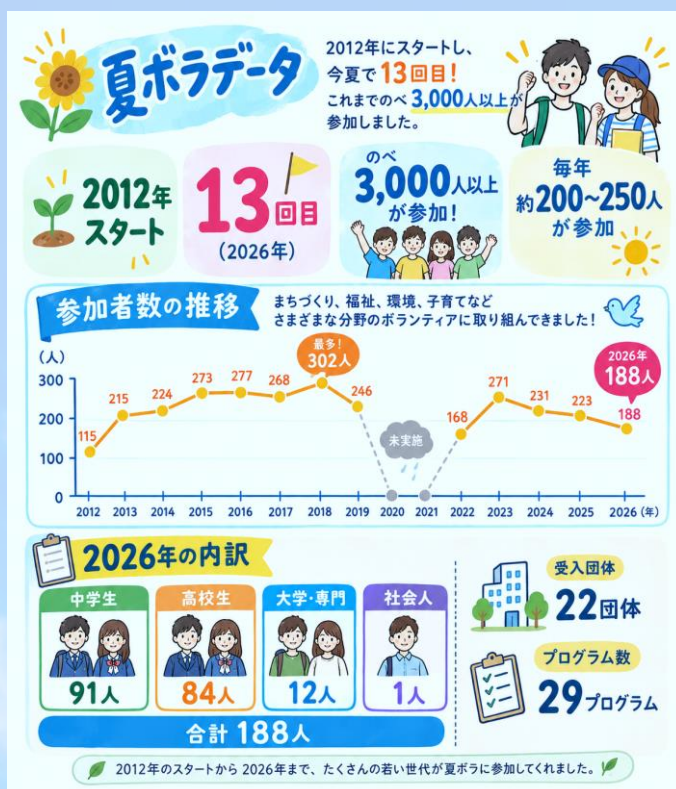
「若者のための夏休みボランティア（夏ボラ）」は、市内在住・在学・在勤の中学生から20代までの若い世代を対象に、市内で活動する市民活動団体が提供するプログラムへの参加を通して、ボランティアを体験してもらう事業です。

2012年にスタート（2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で未実施）今夏で13回目を迎え、これまでに延べ3,000人以上が参加しています。

毎年約200～250人が夏休み期間中に、まちづくり、福祉、環境、子育てなど、さまざまな分野のボランティア活動に取り組んでいます。

夏ボラとの関わり方もさまざまです。ひと夏に一つのプログラムを体験する人もいれば、複数のプログラムに挑戦する人、中学生のときの参加をきっかけに毎年参加を続ける人もいます。さらに、参加者から活動を支える側になったり、夏ボラでの経験を自分の学びにつなげたりと、その関わりが夏休みだけにとどまらず、その後へと広がっていくこともあります。

今回は、それぞれ異なる形で夏ボラとの関わりを広げている3人に、活動を通して感じたことや、夏ボラの魅力についてお話を伺いました。



加藤 咲和さん（高校1年生）

今年初エントリー 2つの分野の3プログラムに参加
＜参加プログラム＞

①三番瀬のプラごみ一掃とアート作り

受入団体：浦安三番瀬を大切に作る会

②障がい児・者とのコミュニケーション

③障がいのある方の余暇活動支援

受入団体：社会福祉法人千楽

夏ボラに参加したきっかけは、学校の先生から「夏休みにボランティアをしてみよう」と声をかけられたことでした。学校で探してみたものの、地元浦安で参加できる活動が見つからず困っていたところ、自宅で中学生の妹が持ち帰った夏ボラのパンフレットを見つけ、「これだ」と思い、すぐに申し込んだといいます。

最初に選んだのは、「三番瀬のプラごみ一掃とアート作り」。アート作品を作ることに魅力を感じて参加したのですが、活動を通して団体の方からプラスチックごみについて学びました。プラスチックは便利な素材である一方、適切に処分されなければ生き物や生態系全体に大きな影響を及ぼすことを知り、「自分だけでなく友達にも伝えていきたい」と感じたとのことでした。

続いて参加した2つのプログラムは、障がい者施設での活動です。もともと人と関わるのが好きという加藤



さんは、利用者の皆さんとの交流を楽しみにしていました。普段接する機会の少ない方々との活動でしたが、とてもフレンドリーに接してくれ、加藤さんを見つけると名前を聞きに来てくれたり、最終日には手紙を渡してくれたことが心に残ったそうです。

また、一人ひとりに個性や得意なことがあり、来所すると必ず腹筋をする方とは一緒に腹筋をしたり、ゲームや占い、豆知識が得意な方からさまざまなことを教えてもらったりと、会話を通して楽しい時間を過ごしました。

普段は同年代の人たちと学生として過ごす時間がほとんどですが、ボランティアでは幅広い世代の人と地域の一員として関わります。複数のプログラムに参加したことで、それぞれ異なる活動の魅力や学びに触れ、自分の関心を広げながら、人とのつながりや社会の中での自分の役割について考える有意義な夏になったようです。

真野 遥季さん（大学1年生）

高校1年生の2023年から3年間連続で夏ボラに参加
今年は受入団体のスタッフとして夏ボラに関わる

＜参加プログラム＞
ソーラークッカー工作講座のお手伝い
受入団体：チーム@エコすき

大学1年生の真野さんが夏ボラを知ったきっかけは、高校に掲示されていたポスターでした。初めて参加したのは、「ふれあいの森公園を育む会」による公園の芝刈り。普段から自宅の庭の芝刈りをしていたことから「広い公園の芝刈りをやってみたい」、そして「たくさんの人が利用する公園をきれいにすれば、多くの人が気持ちよく過ごせる」と考え、参加しました。

中学生のときには、授業でソーラークッカーを体験したこともありましたが、その魅力を今度は自分が子どもたちに伝えたいと、2年目からは「チーム@エコすき」主催のソーラークッカー工作講座の運営をサポート。参加する側から、活動を支える側へと役割が広がっていきました。

ソーラークッカーは太陽の光や熱を利用して調理する道具で、二酸化炭素を排出せず、災害時にも役立ちます。当日は初めて使う子どもたちに使い方を教えます。「環境問題について考えるきっかけにもなるので、より多くの人に知ってほしい。教えたことが伝わって、『もっと



やりたい』と言ってもらえたときはうれしかったです」と真野さん。子どもたちの反応を楽しみに活動を続けています。

そんな真野さんがボランティアを始めた背景には、小学4年生のときに病気で半年間入院した経験があります。そのとき多くの人に助けをもらい、「今度は自分が誰かを助けることをしたい」と思ったことが、活動の原動力になっています。

「落ちているゴミを一つ拾うことや、困っている人に声をかけることもボランティア。自分のできることから気軽に始められます。お金ではなく、人から『ありがとう』と言ってもらえることがうれしい。必要とされるなら、すぐに駆けつけます！」

高校生の夏ボラ参加者から、大学生になった今は活動を支え、その魅力を次の参加者へ伝える側へ。誰かの役に立ちたいという思いが、経験を重ねるごとに次の行動へと広がっています。

窪田 美咲さん（大学4年生）

大学1年生の2023年から4年連続で夏ボラに参加

＜参加プログラム＞
「保育室ゆるり」の保育体験
受入団体：NPO法人i-net

大学で乳児教育を専攻する窪田さんが夏ボラに参加したきっかけは、新浦安駅の市の掲示板で見かけたポスターでした。もともと乳児と接する機会を探していたことから、保育体験プログラムへの参加を決めました。

大学では実際に子どもと関わる機会が限られているため、0～2歳児を対象とする「ゆるり」での活動は、乳児と触れ合える貴重な経験となりました。夏ボラ終了後も週1回ほどボランティアとして通い続け、大学での学びや実習を重ねる中で、子どもの行動を見る視点も変わっていったといいます。「なぜ嫌がっているのかな」と様子を観察して気持ちを想像したり、子どもの「やりたい」という思いを大切にしながら、安全につながる声かけをしたり。講義や教科書で学んだことを、実際の子どもたちとの関わりの中で確かめていきました。

4年間の活動で特にうれしかったのは、子どもたちの成長を間近で見られたこと。「とにかく子どもがかわいい。最初はもじもじしていた子が慣れて遊んでくれるよ



うになったり、よちよち歩きだった子が1年後には走れるようになっていたり。私のことを覚えてくれている子がいたのもうれしかったです」と笑顔で話します。

「ゆるり」のスタッフからは、乳児との接し方だけでなく、保育の仕事についてもアドバイスをもらいました。夏ボラをきっかけに始まった活動は、大学での学びと結びつき、保育の現場を知る機会にもなりました。

これから就く保育の仕事を通して経験と自信を積み重ね、将来また浦安で保育にかかわりたいと考えています。

「興味があることに気軽に飛び込めるのがボランティア。夏ボラは、プログラムを選んで申し込むだけで参加できます。気になるものがあれば、まず参加して楽しんでほしい。私も「楽しい」気持ちが活動の原動力です。誰かのために活動するだけでなく、自分の興味を確かめ、学びを深められるのも夏ボラの魅力の1つです。

窪田さんの4年間のボランティアは将来への自信を育てることにつながりました。

まちづくり活動マッチング事業
つなぐプロジェクト
～ つながればみんな笑顔に～

プログラム新規募集について

つなぐプロジェクトは市民活動団体と地域活動
団体・学校・事業者・行政をつなぐプロジェクト。

今秋、つなぐプロジェクト冊子の改訂版作成に
伴い、広く新規プログラムを募集します。活動を
アピールし、地域とつながる良い機会となります。
ぜひ、ご提案ください。

申込：申込書にてお申し込みください
締切：10月15日（木）

詳細はホームページをご覧ください
URL <https://shiminkc.wixsite.com/tsunagu-project>



うらやすNPOウィーク2026
～市民活動に出会う日～



毎年、市役所1階の市民ホールにて開催している
“NPOウィーク”。環境、国際交流、子育て・
高齢者支援、まちづくりなどさまざまな分野で活
動している30団体による展示の他、企画展も開催
します。今年のテーマは「防災」について。

また、開催期間中、会場でも動画にて活動をご
紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

【展示】

期間：前半：10月15日（木）～21日（水）午前
後半：10月22日（木）午後～28日（水）
場所：浦安市役所1階・市民ホール

【動画】

期間・場所とも展示と同じ
会場では10時から16時まで上映
また、特設サイトでも視聴できます。



団体応援講座
市民活動とAI
～こうすれば活動に活かせる！ 第2弾

今回は講義だけではなく、実際にご自身のパソ
コンを使ってAI活用について学びます。

《入門コース》

日時：11月1日（日）14時～16時

※開始30分前よりサポートタイムあり

対象：パソコン操作に慣れている方で
AI初心者の方

《応用コース》

日時：11月22日（日）14時～16時

対象：日頃からAI活用している方で
さらにステップアップしたい方

<共通>

講師：NPO法人まつどNPO協議会 理事
齋藤 和輝 さん

場所：まちづくり活動プラザ3階306

定員：各コース15名 先着順

申込：専用フォームにてお申し込みください

持ち物：ノートパソコン

参加費：無料



ー参加にあたってお願いー

- ・チャットGPT（無料版）アカウントを作成して
ご参加ください
- ・講座開始時にはWi-Fiにつなげた状態でご参加
ください

「まちを語る会」のご案内

「シンボルロードまち歩き」（5月30日開催）
から3ヶ月経ち、いつものまち並みが少し違って
見えてきた方もいらっしゃるのでは？

まち歩き後、2回目の「まちを語る会」を開催
します。まちづくりに興味がある方、まちを遊ぶ
ことが大好きな方、お集まりください！

日時：9月26日（土）10:00～12:00

場所：うらやす市民大学講義室1

※申込み不要



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2026年9月15日（年3回発行）

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1（市庁舎10階）

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp

URL <https://u-shimin.genki365.net>



センター日誌より

例年より申請期間が長くなった市民活動補助金。来年度の事
業計画書を持って、センターに相談に来られる方がいらっしゃい
ます。「地域課題はなに？」「ニーズはあるの？」、質問と答
えをやりとりしながらお話を進めていく内に、考えがまとまっ
たり気づくことがあったり・・・。

このように申請書のブラッシュアップのお手伝いができるこ
とはセンタースタッフとして大変嬉しいこと。頑張った分だけ
伝わる申請書になって採択につながると良いですね。